

2024 年度福岡ブロックアワードエントリーシート

LOM 名	一般社団法人大川青年会議所	
事業名	モッカランド DE ハロウィンパーティー ～Donation or treat～	
事業担当者	古賀 幸仁	
事業担当者連絡先	Tel:090-5922-1660	Mail:y-koga@shack.co.jp
実施に至った背景	<p>私たちの活動エリアである大川市と大木町は、地域の人口が減少の一途を辿っています。それに伴い、子どもたちが地域で楽しめる行事なども以前に比べると少なくなっています、近年は、コロナウイルスの影響により、私生活においても様々な規制が行われた事で、様々な行事・イベントに参加する機会が数年に渡り失われました。</p> <p>コロナウイルスの規制が緩和された今、子どもたちの豊かな心を育み、成長できる機会を作ると共に地域へ我々の活動を伝播していく必要があるのではないのでしょうか。</p>	
事業の目的	<p>子どもたちが、地域や様々な人と交流をしながら普段体験できない楽しい時間を過ごすと共に参加することで、地域の問題に少しでも向き合い、持続可能な未来への第一歩を目指し、子どもたちの豊かな心の成長を育むことを目的とします。</p>	
事業の概要	<p>子どもたちに地域課題の一つであるフードドライブ事業に触れてもらうきっかけとしてハロウィンパーティーと絡めて事業を行います。参加者の方たちにはチャリティーで寄付をしてもらうことと引き換えにスカイランタンと様々なイベントへの参加をしていただきます。キッチンカーや催し物を体験していただきながらハロウィンを楽しんでもらいます。クライマックスイベントで参加していただいた子どもたちを対象に、願い事を書いたスカイランタンを一斉に上げてもらいます。</p>	
広報戦略	<p>対内向けとして審議可決後と開催 1 週間前のメンバー向けの案内文送付（メール・LINE）</p> <p>対外向けとして SNS とチラシ・ポスター配布による周知</p>	

実施による工夫	<p>フードドライブを子どもたちに触れてもらうきっかけをより多くの動員をかけるため、開催時期を考慮してハロウィンパーティーの要素を取り入れ楽しい雰囲気を出しました。それに加えてフードドライブに参加と引き換えにスカイランタンを飛ばす権利で参加の動機付け、各イベントの出演者に地域のキッズダンススクールや高校の吹奏楽部を選定することでその親御さんの参加、全体をとおしてキッチンカーとフワフワアトラクションを設営することで様々な人に楽しんでもらい、その楽しい雰囲気を見た通りがかった人たちにも参加したくなるような設えができたと思います。</p>			
事業の参加者	会員数	20名	参加率	80%
	対外目標	510名	達成率	100%
事業対象者	大川市近郊の一般市民			
開催期間日時	2023年10月28日(土) 08:00~19:21			
開催場所	大川市中央公園・モッカランド			
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続			
結果	<p>1. 目的がどのくらい達成できたか</p> <p>当初の目標よりも多くの参加者と支援物資が集まりました(集計できたのは目標510名に対して514名ですが、子どもたちの親御さんなどを考慮すると倍ぐらいの来場はありました)</p> <p>色々な催しを行うことで多くの参加者と触れ合うことができ、子どもたちが楽しく参加できるチャリティーイベントになりました。</p> <p>2. 上記の結果の確認方法</p> <p>フードドライブ参加者一覧表およびフードドライブ集計結果</p> <p>3. 検証結果</p> <p>後日、社会福祉協議会にフードドライブの贈呈式を行った際、総重量162.3kg、総個数705個の食料品の提供ができた。</p>			
LOMや地域社会への影響	<p>LOMへの影響としては、初理事の委員長がよくわからないままひたすら一生懸命に議案に向き合い、事業構築を進めていく中で皆が心を打たれ、告知や準備など</p>			

	<p>を進めていく中でメンバーが一致団結し、当日を迎えて大盛況に終わることができてさらに絆を深めることができました。</p> <p>地域社会への影響としては、この地域で大規模なイベントは春と秋の木工まつり、夏の大川市民夏祭りがあります。秋の木工まつりと時期は近いですが、近年市民権を得ているハロウィンパーティーに絡んだ大規模イベントは開催されておらず、参加形式や動員に対しての結果なども他とは異なる事業となりました。このスカイランタンの盛り上がりを受けて大川市の地域活性化事業にスカイランタンが取り上げられたり、国際医療福祉大学の学生が大川での思い出でこの事業のことについて卒業式で話したりするなど、インパクトのある事業となりました。</p>
<p>事業の長期的な影響</p>	<p>この事業の翌年ですでに上記で記載したようないい影響が起こっており、行政からもぜひ継続して行っていただきたいとの声もいただきました。同じ形式ではないにせよ、この事業を参考にして地域にインパクトを与えつつ地域課題にも取り組める事業を行い続けることで地域活性化と会員拡大を両立し、持続可能な大川の実現をめざします。</p>
<p>考察や推奨</p>	<p>予定者段階の前から地域課題を調査し、次年度当初の事業計画に組み込めるような準備を進めることで会員拡大のツールや LOM の一致団結を図れる体制を構築します。</p>

事業風景(写真)



